Genie
A TEREX BRAND

操作説明書

Genie®
Super Hoist®

英語版操作説明書の翻訳

Fourth Edition
Third Printing
Part No. 82297JAGT

はじめに

重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許されます。本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。ご質問等がありましたら、弊社にお問い合わせください。

お問合せ先:

インターネット:www.genielift.com

E メール:awp.techpub@terex.com

目次

はじめに 1
安全規則 2
操作前の点検 5
機能テスト 7
作業場の点検 9
操作手順 10
保守スケジュール 12
ステッカー 13
仕様 14

Copyright © 1993 Terex Corporation
第 4 版: 第 3 刷、4 月 2022 年

Genie および「Super Hoist」は米国およびその他の国における Terex South Dakota, Inc. の登録商標です。

「GH」は Terex South Dakota, Inc. の商標です。

はじめに



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、死亡または重傷事故の原因となることがあります。

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則 ー 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

安全規則

⚠ 転倒の危険



人を持ち上げる目的でこの機械を使用しないでください。この機械は、機材を上げる目的でのみ使用してください。

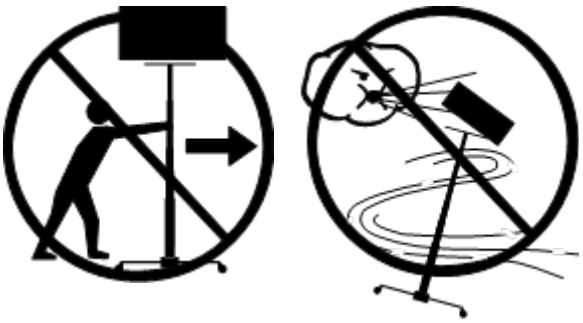
作業台の上に立たないでください。

機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇させないでください。

4 つのレッグすべてが下位置でロックされ、各キャスター・ブレーキがロックされている場合以外は、作業台を上昇させないでください。

積荷が中心に置かれてロープかストラップでしっかりと固定されていない限り、作業台を上げないでください。

作業台が上昇している状態で機械を移動しないでください。



強風時または突風時には機械を操作しないでください。荷重表面積を大きくなると、風の強い状況での機械の安定性が低下します。

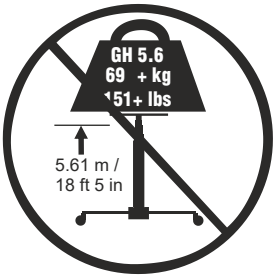
最大作業台積載重量を超えないでください。



GH 3.8

作業台の高さ	作業台最大積載荷重量
3.8 m/12 ft 5.625 in	158 kg/350 lbs





GH 5.6

作業台の高さ	作業台最大積載荷重量
3.8 m/12 ft 5.625 in	158 kg/350 lbs
5.6 m/18 ft 4.5 in	68 kg/150 lbs

機械どの部分にもはしごや足場を組まないでください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

横方向のたわみや曲がりが発生した場合は、直ちに作業台を下げてください。

安全規則

⚠ 感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。

頭上の電線から 10 フィート/3m 以内の範囲で機械を操作しないでください。

機械が通電中の電力線に接触したり、帯電したりした場合は、機械に近づかないでください。

⚠ 衝突の危険

作業台を下げるときは、必ず作業台の下に人や障害物がないことを確かめてから行ってください。

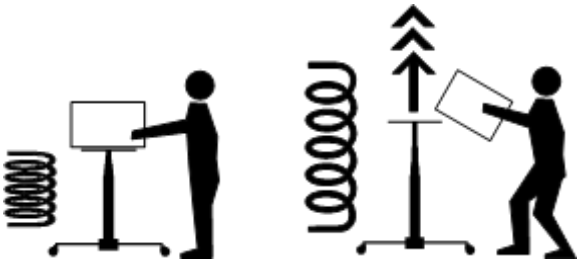
積荷が中心に置かれてロープかストラップでしっかりと固定されていない限り、作業台を上げないでください。

積荷を上げるとき、機械の下に立たないでください。また、作業員がいないことを確認してください。

頭上の障害物やその他の起こりうる危険を回避するために、作業場を点検してください。

作業台をしっかりと固定プラグに固定していない限り、作業台を使用したり上昇させないでください。

作業台が上昇しているときに積荷を追加したり降ろしたりしないでください。作業台が昇降中に積荷を追加したり降ろしたりすると、作業台が動きます。



作業台に積荷がある状態で、ホースと携帯コントロールのプラグを外さないでください。ホースと携帯コントロールの位置を確認し、パンクしたり、押しつぶしたり、切断されないように保護してください。

安全規則

⚠ 機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

⚠ 誤用による危険

機械から離れないでください。関係者以外が機械を使用した場合、重傷をおう、または死に至ることがあります。

操作前の点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

操作前の点検の基本

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが行う目視点検です。この点検はオペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目を確認してください。

損傷または工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。修理完了後、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

操作前の点検

操作前の点検

- ❑ 操作説明書が完備され、読みやすく、参照できる状態であることを確認してください。
- ❑ すべてのステッカーが文字が読める状態で、所定の位置にあることを確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください。

機械の部品をすべて目で見て点検してください。

- ❑ 作業台とＴナット
- ❑ CO2 タンク、CO2 タンクブラケットと圧力レギュレータ
- ❑ ホースと携帯コントロール
- ❑ シリンダーアセンブリ
- ❑ ベース、レッグ、レッグロック、レッグロック・スプリント、キャスター

機能テスト



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

機能テストの基本

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了後、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

機能テスト

以下の手順にリストされている結果のいずれかが得られない場合、またはその他の誤動作が発見された場合は、機械に故障の貼り紙を付けて使用を停止してください。

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した平坦な場所を選びます。

2 機械をベースに立てます。レッグロックを一つずつ解除し、各レッグを下位置まで下げます。

3 シリンダーアセンブリをしっかりと握り、各レッグが下位置でロックされるまで十分に持ち上げます。

⊙ 結果:4 つのレッグロックがロック位置にカチッとはまるはずです。

4 作業台を固定プラグの上におき、T ナットでしっかりと固定します。

5 CO2 タンクブラケットを、CO2 タンクの横にセットします。タンクの回りにストラップを巻きつけ、ブラケットにしっかりと取り付けます。CO2 タンクブラケットをホイストレッグのいずれかにセットします。

注記:交換が必要になるまで、タンクはブラケットに置いたままにしてください。

機能テスト

6 圧力レギュレータの接続ナットを CO2 タンクのバルブ・ステムで回して手でしっかりと締めます。レンチを使用する必要はありません。

⚠ 警告 転倒の危険。圧力レギュレータの操作圧力は、機械の最大積載荷重量にプリセットされています。圧力レギュレータを変更したり、他の圧力レギュレータや 600 kPa / 90 psi を超えるコンプレッサーを使用すると、重傷または死に至ることがあります。Genie 承認の交換部品のみを使用してください。

7 ホースと携帯コントロールを、ホースプラグの端を圧力レギュレーターの側面の連結部に挿入して接続します。携帯コントロールホースをシリンダーアセンブリのベースのバルブに接続します。

8 ハンドルを反時計回りに回して、CO2 タンクバルブをゆっくりと開きます。

⚠ 要注意 部品の損傷の危険。CO2 タンクバルブを急に開くと、圧力レギュレータの隔壁が損傷する可能性があります。

作業台の上昇と下降

9 4 つのキャスターブレーキすべてをロックします。

10 携帯コントロールの上昇ボタンを押して、作業台を上昇させます。

⊙ 結果：各チューブが別々にスムーズに伸長しなければなりません。引っかかってはいけません。

11 下降ボタンを押して作業台を下げます。

⊙ 結果：作業台がスムーズに、コントロールされた速さで下降しなければなりません。

12 作業台を再び上昇させて、その後、携帯コントロールの一番上にある手動ダンプバルブを開いて下降させます。

⊙ 結果：作業台がスムーズに、コントロールされたより速いスピードで下降しなければなりません。

注記：積荷がない状態で作業台を 2 度上昇・下降させると、支柱に潤滑剤がまわります。

作業場の点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

作業場の点検の基本

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください:

- ❑ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ❑ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ❑ 傾斜面
- ❑ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ❑ 頭上の障害物、高圧送電線
- ❑ 危険な場所
- ❑ 機械の重量に耐えられない地面
- ❑ 風や天候の状態
- ❑ 関係作業員以外の人の存在
- ❑ その他、起こりうる危険な状態

操作手順



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則や操作説明書の指示に従うことはオペレータの責任です。

機材を持ち上げる目的以外に機械を使用することは危険です。

2 名以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、各オペレータが、すべての安全規則と操作説明書の手順に従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前の点検、機能テスト、作業場の点検を行う必要があります。

操作手順

この機械は、機材を持ち上げる目的でのみ使用してください。

機械が新しい場合、密封されていたため、またやパッキンの張りのため、動きがぎこちないかもしれません。何度か使用するうちにスムーズに機能します。製品寿命やスムーズな動きを保証するために、製造の段階で多量の潤滑剤が機械に塗られています。時折、シリンダーアセンブリのベースのクイック取り外しプラグから、余分な油が漏れることがあります。

注意 潤滑剤（油）が仕上げを施した床にこぼれないよう、予防策を講じて下さい。

設置

「機能テスト」セクションのセットアップ手順に従ってください。

作業台の上昇と下降

1 4 つのキャスターブレーキすべてをロックします。

2 携帯コントロールの上昇ボタンを押して、作業台を上昇させます。

3 下降ボタンを押して作業台を下げます。

操作手順

手動下降

1 携帯コントロールの一番上にある手動ダンプバルブを開きます。

格納手順

1 作業台を完全に下げます。ハンドルを時計回りに回して、CO2 タンクバルブを閉めます。作業台と CO2 タンクを取り外します。ホースと携帯コントロールを外して、作業台の下のクリップに巻きつけます。

2 シリンダーアセンブリを片手で支えます。もう一方の手で、一番近いレッグのロックを解除します。レッグを上げて、収納位置にロックします。残り 3 本のレッグも同じ手順で収納します。

3 風雨にさらされない、人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。できれば、機械のベースの上に立てて保管してください。そうすることによって、スムーズな操作が維持でき、シールの寿命を延ばすことが可能です。

保守スケジュール

保守スケジュール

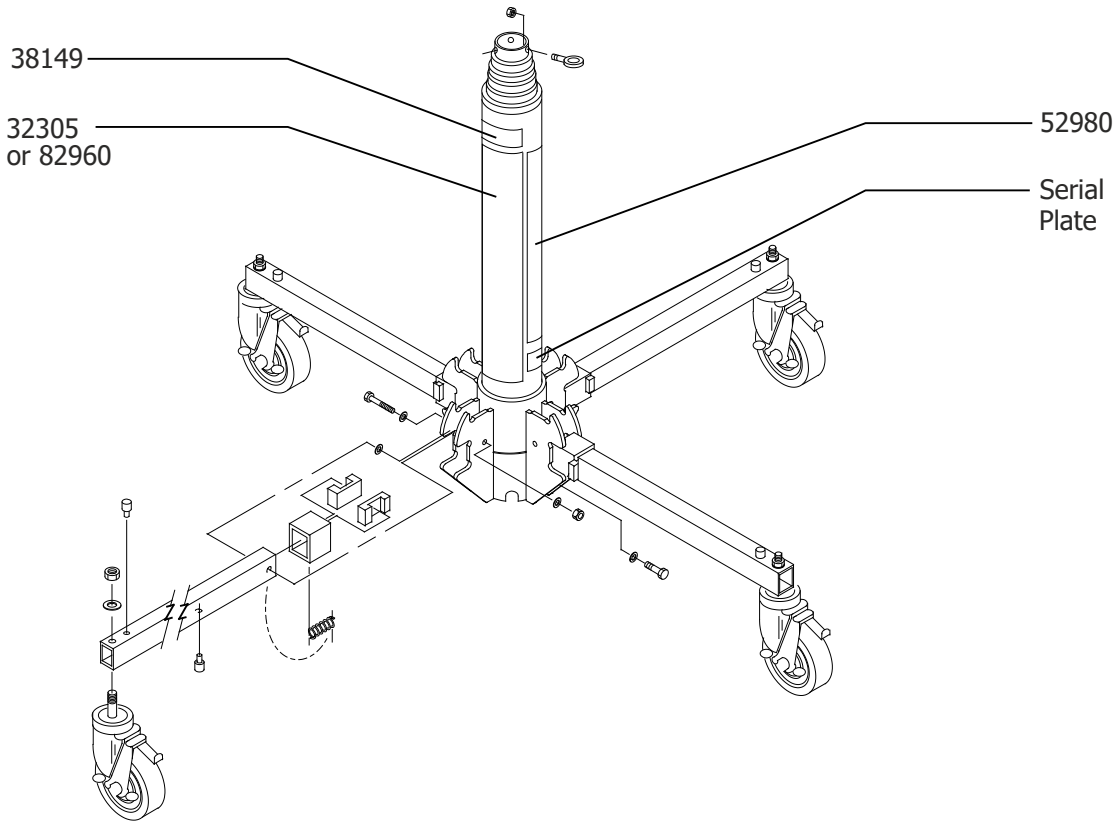
毎日	次の部品を点検し、必要に応じて部品を締め直します：継手、ホース、留め具。
	レッグロックが円滑に動いて、スプリングが動作範囲全体にわたって適切に機能することを確認してください。
	キャスターとキャスターブレーキを点検してください。
毎月	フェルトワイパーを目で見て点検してください。必要に応じてゴミを取り除き、クリーニングしてください。

ステッカー

ステッカーの点検

このページの絵を見て、全てのステッカーの文字が読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。下記は、数量と説明を含む番号順リストです。

品番	ステッカーの説明	数量
32305	警告 ー 機械の安全	1
38149	ラベル ー 特許品	1
52980	外装 ー Genie Super Hoist	1
82960	警告 ー 機械の安全	1



仕様

Genie Super Hoist 3.8		
高さ	41 in	1.04 m
作業台奥行き	19 in	48 cm
作業台幅	24 in	61 cm
ベース幅、角から角まで	53 in	1.35 m
積載荷重量	350 lbs	158 kg
リフトの高さ	12 ft 5.625 in	3.8 m
保管・運搬時の寸法	14 × 14 × 39.50 in	
	36 cm x 36 cm x 1 m	
重量	64 lbs	29 kg
推奨 psi	85 psi	5.86 バール

Genie Super Hoist 5.6		
高さ	54 in	1.37 m
作業台奥行き	19 in	48 cm
作業台幅	24 in	61 cm
ベース幅、角から角まで	53 in	1.35 m
積載荷重量		
3.8 m/12 ft 5.625 in	350 lbs	158 kg
5.6 m/18 ft 4.5 in	150 lbs	68 kg
リフトの高さ	18 ft 4.50 in	5.6 m
保管・運搬時の寸法	14 × 14 × 39.50 in	
	36 cm x 36 cm x 1 m	
重量	69 lbs	31 kg
推奨 psi	85 psi	5.86 バール

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

代理店:

www.genielift.com